

種子島

中種子町 移住定住ガイドブック

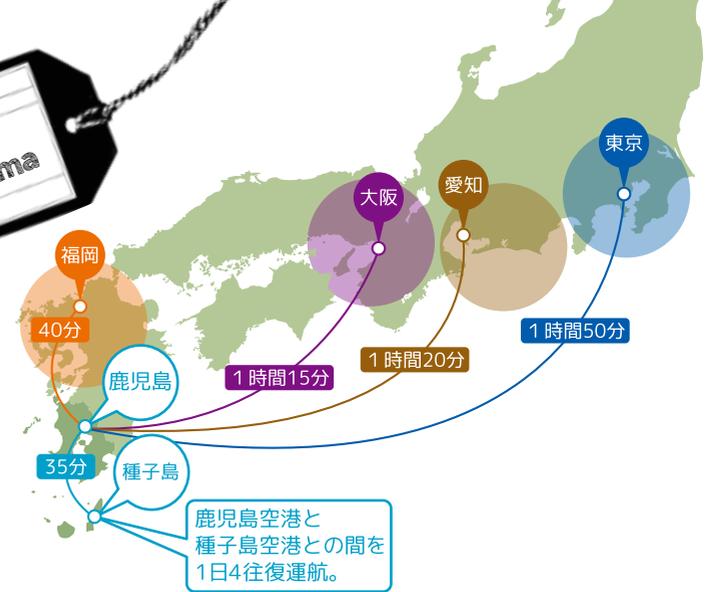
星と海に癒される島 心ほどける町

星のきらめきと海の息吹

人の優しさに包まれた島暮らし



写真提供:サーフヴィラ narai



中種子町への行き方

種子島へは、鹿児島空港から飛行機で35分、種子島の真ん中にある中種子町へは、種子島空港から市街地まで車で15分。毎日、船も飛行機も運航しています。



島民必須 鹿児島離島航空割引カード

島在住の方にとっては、必須の割引カード。役場に申請して発行される割引カードを使えば運賃が引き下げられます。

なかたねの暮らし

ここにあるのは、星と海に癒され、心ほどける島暮らしです。
 星のきらめきと海の息吹を感じ、人の優しさに包まれる、そんな心満たされる暮らしに、一步踏み出してみませんか。

本土から近い種子島

本土最南端の佐多岬から直線距離で約40kmに位置し、ロケットに似た南北に細長い種子島。中央部に位置する中種子町は、空の玄関口である種子島空港があり、高速船やフェリーが発着する西之表市やロケット発射場のある南種子町への移動もスムーズです。



住み心地豊かな環境

島での暮らしは、都市部ほど便利ではありませんが、スーパーやドラッグストアなどが点在しています。また、住む場所によっては歩いて海に行ける環境で、インターネットの普及も進み、島で暮らしながらオンラインでのお仕事も対応可能です。

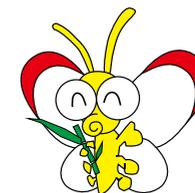
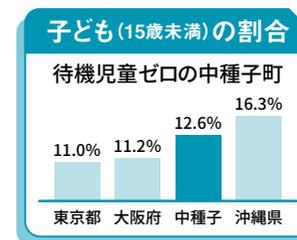
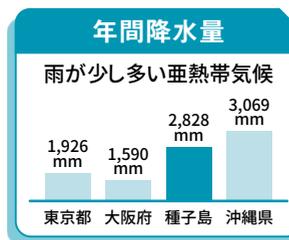
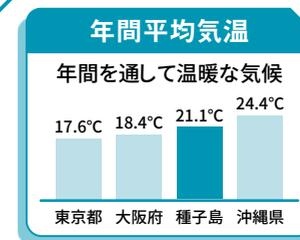
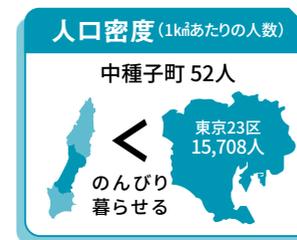
地域コミュニティ

移住して、頼れる人や場所があることが島暮らしをする上で大切です。中種子町には7校区60集落が存在します。温かな町民の方々は、分からないことを聞いたら、快く教えてくれます。地域コミュニティに入って地域の方々と交流することで、困りごとの解消に繋がります。



数字で比較🔍種子島 中種子町

都会とどのくらいちがうだろう!?



町のマスコットキャラクター ベニーちゃん

なかたねのライフライン

種子島は離島ではありますが、生活に必要な電気、ガス、水道などの設備は全て整っています。インターネットも光回線が利用可能で、衣食住に必要な店舗も揃っていますので快適に暮らせます。

インターネット



光ブロードバンドが町内をほぼ網羅しており、本土と変わらず、快適なインターネット環境があります。

電気・ガス・水道



電気・ガス(プロパンガスのみ)・水道の光熱費は、使用される方の生活スタイルにもよりますが、都市部よりやや高くなる場合があります。

スーパー・コンビニ



生活必需品が揃うスーパーや、コンビニ(24時間営業も含む)も複数店舗あります。また、コインランドリーと併設している店舗もあります。

ドラッグストア



医薬品や生活必需品が揃う大手ドラッグストアが複数店舗あります。離島ということもあり若干価格は異なりますが、大きな差を感じない価格です。

交通・貨物配送



定期路線バスや無料巡回バスもありますが、便数が少ないため自家用車が便利です。ネットショッピング等の貨物配送は本土と差を感じない程度です。

ガソリンスタンド



町内にガソリンスタンドは複数店舗あります。本土からの輸送費がかかるため、本土に比べるとやや高めです。

しまの医療

島内には、地域の人たちが安心して暮らすことができるよう地域医療を担う中核医療機関や、産婦人科、24時間救急を受け入れてくれる病院があります。重篤な場合はドクターヘリでの搬送も行っています。



公立種子島病院(南種子町)

診療科目

小児科・内科・整形外科・リウマチ科・眼科
耳鼻咽喉科・精神科等



種子島医療センター(西之表市)

診療科目

総合内科・小児科・外科・眼科・耳鼻咽喉科
皮膚科・泌尿器科・リハビリテーション科等

町内の医療機関等

- 高岡医院
- 中種子クリニック
- 田上診療所
- 鎌田歯科医院
- たなか歯科医院
- 羽生歯科医院
- 中種子町保健センター



種子島産婦人科医院(西之表市)

介護施設

- グループホーム 寿の家
- 特別養護老人ホーム南界園
- 有料老人ホーム ありがとう中種子
- 小規模多機能ホーム ころも
- 通所介護 おたつめたつ

※その他介護サービス事業所もあります。

なかたねのイベント

中種子町の一年は、四季折々の美しい自然と歴史ある伝統文化で彩られています。
季節のお祭り、町民体育祭などイベント盛りだくさん。



イベントカレンダー

1月

- 二十歳のつどい
- 消防出初式
- 中種子町武道大会

5月

- 親子ふれあいウォーク

7月

- 海水浴場 海開き
- 県スポ熊毛地区大会
- 各地区六月灯

8月

- よいら〜いき祭り

9月

- 小学校・校区合同運動会
- 中学校体育祭

10月

- 各地区秋季大祭
- 町民体育祭
- 中種子町相撲大会

11月

- 農林漁業祭
- 「生涯学習町民フェア」町民文化祭
- 町駅伝競走大会
- 種子島相撲大会

12月

- 親子ふれあいスポーツ大会



なかたねの特産品をつかった食卓
種子島の豊かな海、土壌で育まれた絶品の食べ物や地酒が豊富です。
中種子町の家庭や宴会では、四季折々の天然極上の食材に溢れる島の恵みを
家族や仲間と語り合いながら味わう至福の食卓がここにはあります。

なかたねで働く

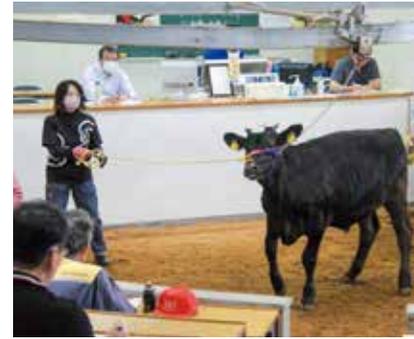
中種子町は、豊かな自然を生かした農林水産業や畜産業等の第1次産業が最も盛んですが、その他、事務職や飲食業、福祉関連等の自分のスキルを生かせる仕事がたくさんあります。また仕事を通して町の人との交流も移住の魅力です。



さとうきびの収穫風景

さとうきび、安納いもが主幹作物

種子島でのさとうきび栽培は1825年から始まったとされており、現在では種子島の基幹作物となっています。そのため、町内には島内唯一の製糖工場をはじめ、サトウキビに関連した国の機関や民間企業などが多数あります。また、焼き芋にすると蜜が出るほどの甘さとねっとりとした食感が特徴の安納いもは、全国のファンに愛されています。その他、ブロッコリーやマンゴー等の栽培も盛んです。



黒毛和牛

畜産業は中種子町の主要な産業のひとつで、特に黒毛和牛の子牛生産と、酪農が盛んです。豊かな自然環境と良質な牧草でのびのびと育つ黒毛和牛は鹿児島黒牛の一翼を担っています。酪農でも、安心安全な牛乳を毎日生産し、種子島牛乳をはじめバターなど地域の特産品としても人気です。畜産の仕事は動物の健康管理や飼料生産など多岐にわたりますが、大きなやりがいを感じられる仕事です。

どんなお仕事があるの？

島ならではのお仕事もあり楽しく働けますよ!! また、地域の方との交流にも繋がります。

農業



中種子町は、高い山がなく、温暖な気候に恵まれた環境で農業が盛んです。

水産業



太平洋と東シナ海に挟まれた種子島では、黒潮の豊かな漁場があります。

飲食業



実際に移住され、飲食業を営む方も多いです。食が充実した中種子町では、収穫された様々な食材を使って島ならではのメニューも豊富です。

専門職



離島だからこそ、資格を持った専門職は大きなメリットがあります。看護師や介護士は人手不足なところもありますのでとても重要な人材です。

求人情報くまげ(種子島版)

フルタイムからパートタイムまで様々な業種・職種が掲載されています。専門職も多数掲載され、仕事探しに最適です。仕事を通して知り合いを増やすのも生活のポイントです。



なかたねで子育て

中種子町では、地域で子どもを育てるという観点で、安心して子どもを産み、元氣よく子どもたちが遊び学べる環境を創出しています。未来の中種子町のため、子育て支援を拡充してまいります。

出産祝金

出産前に引き続き3ヶ月以上本町に住所を有している方に、出産子育て支援金(中種子町商工会商品券)を支給します。

- 第1子 50,000円
 - 第2子 100,000円
 - 第3子 200,000円
 - 第4子以降 300,000円
- ※希望により、祝金額の半額までを現金で支給できます。

乳幼児健診

乳幼児の健康の保持及び増進を図るため、発達の節目に合わせて集団検診を行います。

子育て支援

- 子ども医療費の助成制度 …………… 本町に住民登録のある高校生年代までの子ども(18歳到達後最初の3月31日まで)を対象に、県内医療機関での保険診療による窓口負担金を無償化しています。
- ひとり親家庭等医療費の助成 ……… ひとり親家庭等(母子・父子家庭等)の方々へ生活支援のため、医療費の助成を行います。
- 就学前児童など一時預かり保育 …… 一時保育が必要とされる児童を対象(概ね生後4ヵ月から5歳児まで)に行っています。

妊婦健康診査等 助成

【妊婦健康診査等 助成】
妊娠中(14回)及び産後(2回)の検診にかかる費用と新生児聴覚検査・1ヶ月検診にかかる費用の一部を補助

【産後ケア】
産後1年以内に心身の不調、育児不安等がある妊婦に対して、助産師や保健師等が必要なケアや育児サポート等の支援を行います。
訪問型(こども家庭センター)、通所型・短期入院型(種子島産婦人科医院)があります。

幼稚園 保育園



町内には、公立保育園、認定こども園、小規模保育施設、児童発達支援センターがあり、多様な保育・支援を提供しています。

- 中央保育所(認可保育園)
- 認定こども園 野間幼稚園あんふあん保育園
- チャイルドハウス(小規模保育所)
- すまいるキッズ(児童発達支援)

小学校 中学校



中種子町には、7つの小学校があります。

- 星原小学校 ●油久小学校 ●納官小学校
- 増田小学校 ●野間小学校 ●岩岡小学校
- 南界小学校

中学校は、中種子中学校1校のみです。特別支援教育に取り組む鹿児島県立中種子特別支援学校もあります。

鹿児島県立 種子島中央 高等学校



鹿児島県立種子島中央高等学校は、種子島内に2校ある高等学校のうちの1つです。設置学科は普通科、情報処理科の2つの学科があり、令和6年4月からは、デジタル技術とデザイン思考を学ぶ「ミライデザイン科」が新たに新設され、デジタル分野の人材育成に力を入れています。

放課後 児童クラブ



授業終了後に活用する小学生を対象とした放課後児童クラブは各校区ごとに1クラブあります。

- 星原校区児童クラブ ●油久児童クラブ
- 納官校区児童クラブ ●増田校区児童クラブ
- なかたね児童クラブ ●岩岡校区児童クラブ
- 南界校区児童クラブ

就学費用 援助制度



経済的な理由で就学が困難と認められる児童・生徒の保護者へ学用品の一部を援助します。

うみがめ 留学



中種子町の里親家庭等へ1年間生活する体験学習制度です。現在、岩岡小学校と星原小学校で留学生の受け入れを行っています。

問合せ

出産・子育て

中種子町役場 地域福祉課 TEL:0997-27-1111

学校関係

中種子町役場 学校教育課 TEL:0997-27-1111

なかたねに住む

「移住」を決断した時、何から始めたらいい？と悩むことがあるかもしれません。

まずは、移住までのスケジュールを組み立て

移住後の暮らしを具体的にイメージしながら、計画していきましょう。

STEP 1



まずはネットリサーチで情報収集しよう

移住についてイメージを膨らませましょう。

- 鹿児島移住ネット

<https://www.kagoshima-iju.jp/introduce/nakatane/>



STEP 1



中種子町役場 企画課へ相談

中種子町 企画課では、移住支援制度や空き家バンク、中種子町での生活の様子などについての情報提供等を行っています。

STEP 1



住まいと仕事を探そう

住まいはあるの？仕事はあるの？疑問ですよね。住まいについては、空き家バンク及び中種子町の不動産会社の活用がおすすめ。仕事については、「求人情報くまげ（種子島版）」で探せます。

STEP 1



補助金制度を活用しよう

住まいや仕事など移住環境を確認したら、利用できる補助金制度を確認しましょう。中種子町では、住宅の新築、改修、購入等の経費を補助する制度等がありますので、是非ご利用ください。

なかたねの移住サポート

中種子町では、住宅／土地をお探しの移住者の方へ空き家バンクの

ご利用案内または町内不動産会社へのご紹介を行っています。

また、移住者の方が安心して定住できるよう住宅整備の支援制度もあります。

空き家情報

移住希望の方へ「空き家情報」と「定住促進住宅」の2種類の情報を提供します。

●空き家情報

町内に空き家を持つ方が、移住者に対して売却・貸付を希望する物件です。

●定住促進住宅

町補助金を受けて改修した住宅です。

地域定住支援事業補助金

市街地居住者及び移住者の方へ住宅建築、購入、改修に対して助成をします。地域指定あり、原則5年以上居住する意志をもって入居する方が対象です。

●指定地域

星原校区、納官校区、増田校区、油久校区、南界校区、岩岡校区

●補助対象事業、補助額

(補助上限額3事業ともに 50 万円)

(1) 住宅建築

建築費用が 500 万以上(税抜き)で補助対象経費の 10 分の1を補助

(2) 住宅購入

購入費用が 200 万(税抜き)以上で、補助対象経費の 10 分の1を補助

(3) 住宅改修

改修費用が 200 万(税抜き)以上で、補助対象経費の5分の1を補助

定住促進住宅整備事業補助金

I・Uターン者及び地域後継者に貸し付ける住宅とし、町内建築業者等で概ね60㎡以上の空き家の改修を行った方へ助成をします。

●補助額 補助率3分の2

補助上限 最大100万円

●定住促進住宅

※各種条件があります。

町補助金を受けて改修した住宅です。

空き店舗等活用整備事業補助金

町内建築業者により概ね 30㎡以上の空き店舗の改修を行い出店する新規事業者等に対し、補助金を交付します。

問合せ

中種子町役場
企画課

TEL:0997-27-1111

なかたねの地域

中種子町には、7校区 60 集落が存在します。

どの地域も島らしいおおらかな風土に包まれ、独特の文化を持っています。

住む人皆が温かい人柄で、心地よい島時間が流れています。



人口: 7,102人

世帯数: 4,035世帯

※ R7.1.1 現在の住民基本台帳登録数

自分に合った校区を探すためには、まずは中種子町に遊びに来て、役場で話を聞いたり、実際に校区を訪れることをお勧めします。各校区の特徴をまとめたので、校区を訪れるきっかけにしてください。



野間 (のま)

中種子町の中心地に位置し、町内では一番人口の多い地区となるため行政施設や医療機関、商店街や大型スーパー、中学校と高等学校などがあります。中心部からはずれると、両側を海に囲まれた緩やかな地形をいかして広大な農地がひろがっています。



星原 (ほしはら)

海岸線沿いに走る国道 58 号線は景観抜群で、名所である雄龍雌龍で見る夕日は見応えがあります。星原小学校がある浜津脇集落は昔から漁業が盛んな地域で、海と山に囲まれた自然の豊かさを感じられる地域です。

納官 (のうかん)

西側は、南北 12 km にわたる長浜海岸、内陸部には子牛せり市場を有するなど農業が盛んな地域です。また、その他伝統芸能も色濃く残る地域でもあります。

増田 (ますだ)

畜産などの農業が盛んな地域で、山間部が比較的多い地区です。高台には、JAXA の宇宙通信所や地形をいかしたロケット発射場も望めるゴルフコース、種子島の玄関口である種子島空港も近くにありま

油久 (ゆく)

種子島の基幹作物であるサトウキビの製糖工場や、サツマイモの澱粉工場などがあり農業が盛んな地域です。東側に面する海岸は、気軽に魚釣りや潮干狩りが楽しめます。

南界 (なんかい)

山間部では農業、東側の太平洋に面する地域では漁業が盛んな地域です。また、南種子町との町境付近では、観光スポットの国指定天然記念物のマングローブ林、町営の海水浴場やキャンプ場、温泉施設もあります。

岩岡 (いわおか)

畜産などの農業が盛んな地域です。西側に面する海岸は、納官校区から続く長浜海岸があり、ウミガメの産卵も多く見られ手つかずの自然が残る地域でもあります。また、うみがめ留学を行っている地区でもあります。



先輩移住者
01
INTERVIEW
インタビュー

お名前 村田 浩平 (妻、子供2人)

お仕事 中種子町役場 勤務

以前の居住地 奈良県奈良市

●中種子町に移住したきっかけは？

サーフィンが趣味で、15年程前に初めて来島しました。その後、何度か来島し、当時、西之表市在住の妻と知り合い結婚しました。結婚後、地元の奈良県に住んでいましたが、子どもが産まれたのを機に、子どもをのびのびと育てたい思いがあって中種子町へ移住しました。

●島での移動はどうしてますか？

車は必須ですが、島内のみで距離を走らないので、ガソリン代はそこまで負担とは思わないです。しかし、自分と妻、自家用車2台は必要です。

●物価の違いは感じますか？

都会は物が安く買えますが、ここは、野菜や果物など多くの物をいただきます。地産地消で地元の手作り弁当などおいしいです。

●移住して良かったことは？

子どもの教育にはとても良いと思います。学校でも幼稚園でも子どもが少ないので、一人ひとりに時間をかけて指導してもらえ、学力が向上、情緒も安定したと思います。また、子ども達も自分より年下の子どもの面倒をみるようになりました。小人数だからこそできることだと思います。

●移住して困ったことは？

古い家でも意外と家賃が高く、住宅が少ないです。空き家バンク登録や地元不動産会社があるが、実際は人づてで決まることもあります。

●移住して思うことは？

今は15年前に初めて来島した時よりは、お店が多くなり便利になっているが「手間を楽しむ、何もないを楽しむため」休日は子ども達と磯遊びに行ったり、ハンバーガーを作ったり、自分で楽しみを見つけるのが楽しいです。留学生制度等を活用し、まずは、中種子町を感じてもらいたいです。



先輩移住者
02
INTERVIEW
インタビュー

お名前 宮 茉衣

お仕事 (株) Calfields 勤務

以前の居住地 愛知県岡崎市

●中種子町に移住したきっかけは？

高校生の夏休みに種子島のおばさんの所へ遊びに来ていました。その時、空気が綺麗で自然が多く、直感で「ここだ!」と感じました。

●島での移動はどうしてますか？

通勤やどこに行くにも自家用車です。島内では自家用車は必須です。

●島での住居はどのように探しましたか？

高校卒業後、南種子の牛飼いをしているおばさんの家に住んでいました。その後、町内不動産会社からアパートを紹介してもらいました。

●どのようにして仕事を見つけましたか？

牛が好きというもあり、JA種子屋久畜産課に就職しました。3年間JAに勤務後、現在の勤務先である(株) Calfields の梶屋さんから「うちで働いてみないか」と声をかけていただき、転職しました。

●移住して良かったことは？

牛が大好き。自然が大好き。休みの日はドライブして、海をボーっと眺めるのが好きです。たまに島外へ出て、買い物、ボーリングを楽しむのも好きです。

●移住して困ったことは？

遊ぶところがあまりないですが、その何もないのが大好きです。





お名前 サブコタ ビダン

お仕事 飲食店経営 すばらしいインドネパールカレー

以前の居住地 鹿児島県屋久島町

●中種子町に移住したきっかけは？

種子島の中央に位置しているので、お客様が西之表市、南種子から来やすいと思ったからです。来店比率は、西之表市 60%・中種子 30%・南種子 10%くらいです。

●島での移動はどうしてますか？

1階が店舗、従業員5人と一緒に2階に住んでいるので、通勤は問題ないですが、どこか行くのに自家用車を使っています。自家用車はどこに行くにも必須です。

●島での住居はどのように探しましたか？

2024年1月に種子島へ来島し、4月に中種子町の現在の店舗を店舗兼住居として、地元の不動産会社から紹介いただきました。

●どのようにして仕事を見つけましたか？

大分でネパール・インドカレー店を営む両親のもとで、2年間、日本語学校で日本語を学びながら、父からインドカレーを教わりました。父が引退しネパールに帰国後お店を継いで、大分県、屋久島に次いで中種子町で店を開店しました。

●移住して良かったことは？

とにかく周りの人がやさしいです。困っていたら助けてくれます。商工会と商店街の団体にも加入しました。

●移住して困ったことは？

海が荒れると船が欠航して、食材が入荷しないため作れない料理があります。お客様に申し訳ないです。



お名前 松田 憲政

お仕事 安納いもブランド推進本部 勤務

以前の居住地 大阪府大阪市

●中種子町に移住したきっかけは？

大好きなサーフィンを生活の一部にしたいと種子島を訪れた際、島の子も達が見知らぬ私に元気よく挨拶してくれました。地域に住む人と共に生きる!世界を旅した時に感じた都会では失われてしまった大切なコミュニティがここにあると確信し、中種子町に移住しました。

●現在のお仕事は？

安納いもブランド推進本部の事務局長をしています。先人達が積み上げてきたこの「島の宝」を次世代へ繋いでいくために、国の認証制度であるGI(地理的表示保護制度)への登録、ロゴデザインや共通箱の作成など、統一感のあるブランディングを通じて産地の誇りを醸成し、これからの原動力となっていくよう奮闘しています。

●島での住居はどのように探しましたか？

地域おこし協力隊として採用されたので中種子町役場が探してくれました。

●物価の違いは？

物価の違いは思った程ないと感じます。ドラッグストア、コンビニがあり不便はないです。ガソリンの値段が高いのと、台風の時に物がなくなることがあるが、もう慣れてます(台風前に冷凍商品など買い込む)。借家が古いので、台風の時には停電サバイバルみたいな感じです。

●中種子町に対して思うこと？

地域おこし協力隊の時から色々な方面の方と関わり、現在では農業の方々と関わり、お世話になっております。これからはヨソ者だった経験を活かし、「種子島安納いも」が激しい産地間競争を勝ち抜いていけるよう島のために恩返しができると思います。

移住するものの心得として、地域に分け入り、地域を知ろう、そして自分を知ってもらおうという心構えが必要だと思います。サーフィンはどこにも負けない種子島の魅力です。有名なサーフスポットにライブカメラを設置することで、島内サーファーの波情報の収集だけでなく、島外の方にも身近に種子島を感じてもらえることができ、いつかは訪れてみたいと思うきっかけになると思います。また、防災の観点からも地震時の津波情報の確認に役立つのではないかと思います。

なかつたねのあるある?!

種子島は、海の玄関口である「西之表市」、ロケット打ち上げ基地のある「南種子町」、そして、種子島空港がある「中種子町」の1市2町で構成されていますが、それぞれのまちで独自の「あるある?」があります。

酒の席は「島乃泉」

中種子町で宴会をする時は必ずと言っていいほどの焼酎。居酒屋のボトルキープも99%これ! ちなみに、西之表や南種子の人と飲むときは、そちらの地元焼酎を持参するのがスマートです。

無人販売のクオリティが高い

町内のあちこちにある地元で採れた野菜や花を売る無人販売。午前中には品物がなくなるくらいその時期旬のものが贅沢に揃い、新鮮野菜が100円前後とお得です。

町民みんなが知り合い

車ですれ違っただけでも「よ!」って手をふる中種子町民。なんで!? って思っても、気さくに声を掛けられるのがこの町のいいところ! 声を掛け合うことで防犯にもなる安心安全な町ですよ。

心が和む環境

映画やドラマに出てくるようなさとうきび畑に囲まれた一本道と東と西に広がる透き通った青い海。毎日、中種子の大自然が心を和ませてくれますよ。

アニメの撮影地 中種子町

「秒速5センチメートル」「ロボティクス・ノーツ」など、数多くのアニメや映画の聖地。舞台となった地域は、美しい景色が広がり印象的なシーンを思い起こさせ、実際に訪れるファンが多いです。

ビール瓶に栓抜きを使わない

割り箸やライターを器用に使ったり、ビンの蓋同士で引っ掛けたり。歯で開ける強者まで! 道具に頼らない人たち。これができるようになったら、あなたもりっぱな中種子人。

タネガシマン動画がためになる

ご当地ヒーローの先駆け! 「離島閃隊タネガシマン」で使われる方言は、面白おかしく楽しめて、かつ郷土愛あふれるという秀逸さ。ネット動画を見て、種子島の方言を覚えてみては!?

すぐBBQをする

暖かくなると、近所から煙が。「海の幸担当」「たけのご担当」「肉担当」がしっかり分かれている。クオリティが高い。

海だけじゃないプールもある

島の回りは海に囲まれていて、島の人は海に泳ぎに行くって思われがちですが、実は立派な流水のプールもある中種子町。小さい子供でも遊べるプールがあるって安心ですよ。

音楽フェスやイベントが多い

本土から定期的にアーティストが多数訪れ、音楽フェスやイベントを開催。中でもお勧めは、地元のサーファー達が主催するDJイベント。みんなが楽しめるイベントとして大人気です!

なかつたねの方言集

種子島には独特の方言があり、地域で言葉やイントネーションも若干異なります。初めて聞くと物珍しく感じますが、日々の生活の中で、方言を少しでも活用することで、一歩踏み込んだお付き合いのポイントになるかもしれません。

- ばきー(嫁)
- おじー(夫)
- けなー(親戚)
- のみかた(飲み会)
- くびぎっちい(いっぱい)
- おーぎ(さとうきび)
- おーきんなー(ありがとう)
- 〇〇あいじょー(〇〇にい(男性への敬称))
- おいどん(私)
- わー(あなた)
- わざい(すごい)
- よかろー(いいよ)
- 〇〇ねえ(女性への敬称)
- むじよか(かわいい)
- およ(相槌)





中種子町
Nakatane Town

中種子町役場 企画課

〒891-3692

鹿児島県熊毛郡中種子町野間5186番地

TEL:0997-27-1111 FAX:0997-27-3634

